

特集

水 香る まち

湧き水、湧泉、湧、呼び方は違えど、古くからため池と並んで香川の、そして善通寺の象徴として地域の人に親しまれてきた出水。その数は八十を超えらるとも。残暑厳しい9月、涼を感じる出水の旅に誘います。

個性あふれる善通寺の出水



古い文献によると、幕末期の善通寺市内には百か所あまりの出水があったとか。現在、確認されている数は八十一。古くから、洗い場として、農業用水として、そして憩いの場として、地域の人の生活に深く密着していた出水。しかし、その実態は意外にも知られていないのが現状。
八十一すべてはご紹介できませんが、ここでは特に個性の強い出水について触れてみます。

出水名水

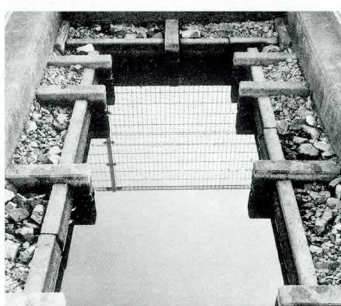
オリンピック選手も訪れた伝説の出水

寺湧（てらゆ）

原田町



江戸時代には寺井出湧と呼ばれる。ロス、ベルリンオリンピックの水泳競技で活躍した遊佐正憲選手もここで泳いでいたという逸話も。



- 金倉川にかかる五條橋の北東。
- 竜川小学校から西へ徒歩8分。

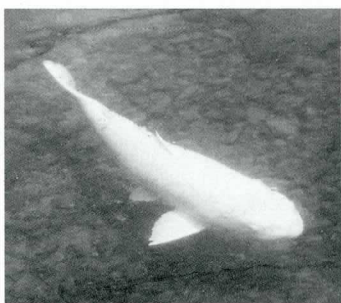


出水名水

街並みを流れる疎水の源泉

二頭出水（ふたがしらですい）

生野町



「さぬきの名水」にも選ばれた市内最大規模の出水。かつては水道水源としても利用。二か所から水が湧き出ていることから「二頭」と呼ばれる。

- 県立善通寺第一高校の南東。
- JR善通寺駅から南へ徒歩5分。



出水名水

静と動、対照的な二つの出水

上湧・下湧（かみゆ・しもゆ）

下吉田町



水の流れがほとんどなく、水がよどむ上湧(西)に対し、豊富な水が湧き、水の透明度は市内有数ともいえる下湧(東)。下湧には小魚が多く生息。



- 吉田八幡の北。
- 東部小学校から北へ徒歩7分。

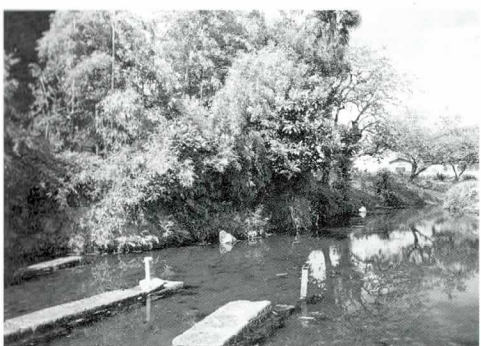


出水名水

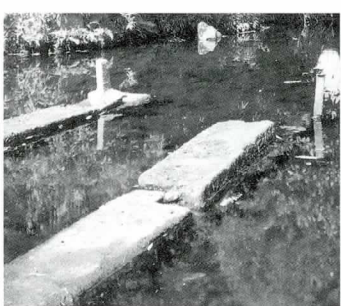
お殿様の休憩所もあったという名水

榎の木湧（えのきゆ）

下吉田町



「永井の清水」とも呼ばれる。かつては丸亀京極藩のお殿様が休憩するための永榎亭という名のお茶屋があった。榎の太木が泉側にある。



- JR金蔵寺駅から西へ徒歩10分。
- 旧街道沿いの北側。



出水名水

見るだけで心がなごむ癒しの出水

エビス湧（えびすゆ）

中村町



昔は近所の人たちが、この出水の水に感謝して祭りをしていたらしい。今なお、地域の憩いの場として利用されている。水の透明度が高い。



- 国立善通寺病院の北側。
- 筆岡小学校から南へ徒歩10分。

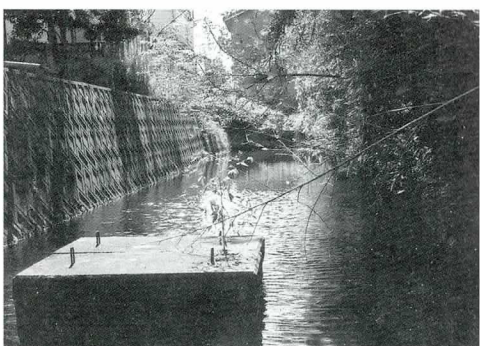


出水名水

探す楽しみこそ出水巡りの真骨頂

内湧（うちゆ）

中村町



かつての仲村城は、この出水を利用して濠を築いたといわれ、少なくとも鎌倉時代から湧いている。人家を通り抜けなければお目にかかれない。



- 仲村城跡にあった濠の一部。
- 若宮神社から北へ徒歩2分。



出水名水

善通寺の新たな観光スポット

吉岐の湧（いきのゆ）

生野町



「水の駅」第一号。東屋、遊歩道のほか、周囲にはサザンカや桜、シバザクラが植栽され、訪れる人の目を楽しませる。平成15年度に整備。



- 市道生野線の南側。
- 市役所から徒歩13分。



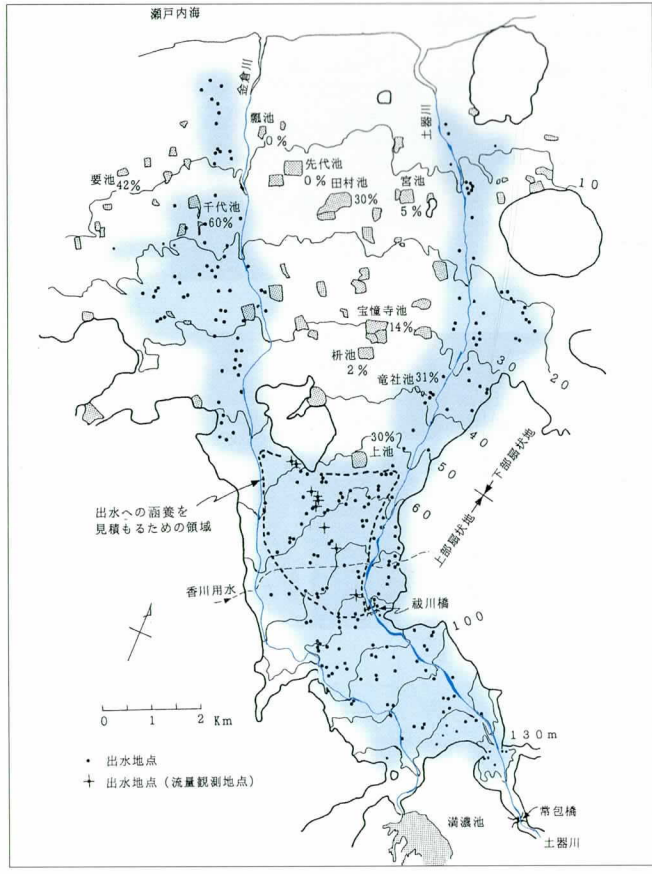
『出水』の真相と意義

～インタビュー～

独立行政法人 農業技術研究機構
近畿中国四国農業研究センター
四国研究センター

吉川 省子さん
細川 雅敏さん

【参考1】丸亀平野における出水の分布



なぜ讃岐の地に 出水が多いのか

——そもそも、どうして香川県には出水が多いのでしょうか？

吉川氏 香川県に限らず、出水は扇状地であれば、どこにでも発生する可能性があります。山間部に降った雨が地面に浸透し、地下水脈を形成するのです。山から平野になり、傾斜が緩やかになるにしたがって、地表から地下水脈までの距離が短くなります。扇状地の特質ですね。

——扇状地は香川県だけではないはずですよ？

吉川氏 ええ。日本は山と海が比較的接近しているので、扇状地となっている地域は多いですね。香川県に出水が多いのは、古くから水不足に悩まされてきたという歴史的背景があるからではないでしょうか。

——豊富な水が湧き出る出水を飲み水や農業用水として重宝し、付近の住民が大切に管理してきたというわけですね。

吉川氏 そのとおりです。あと、香川県の地下水脈は、他県のもの比べて地表から非常に近い場所にあるんです。ですから、水脈の位置さえわかれば、一〜二メートル掘り下げれば水が湧くんですね。この特徴も香川に出水が多い原因の一つとして挙げられるでしょうね。

——一体どれくらいの数の出水が存在するのですか？

吉川氏 善通寺が位置する金倉川沿いには特に多くの出水が見られますね。

吉川氏 昔の土器川は、現在の金倉川付近を流れていたと推測されますので、地下水脈が豊富なんでしょうね。

消えゆく出水の 存在意義とは

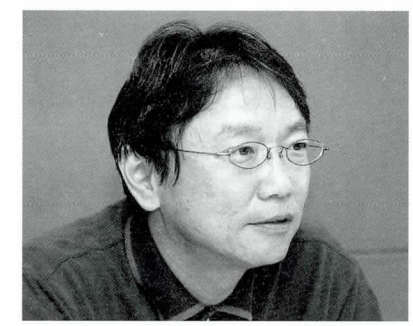
——出水は地域にどういう役割を果たしているのでしょうか？

細川氏 水道用水が普及する前には、生活用水などに利用されていたはずですが。現在でも、農業用水の補助水源として広く利用されていますね。



傾斜地基盤部資源利用研究室 (農学博士)

よしかわ せいこ
吉川 省子さん



傾斜地基盤部基盤整備研究室主任研究官

ほそかわ まさとし
細川 雅敏さん

——しかし、水が枯れたりして使用されなくなる出水も多いと聞きますが…。

細川氏 香川用水をはじめとした灌漑設備が整うと、農業用水の補助水源としての出水の役割は小さくなってしまいます。そうすると、出水の維持管理が行き届かなくなると、荒れ果てたり、土砂などで湧水ポイントが埋まって、水が枯れたりするケースも多く見られますね。

吉川氏 あと、アスファルトやコンクリートで地表の多くを舗装したために地下へ浸透する水が少なくなったというのも出水の水量が減った原因でしょうね。

——このままでいいのでしょうか？出水の存在意義はすでになくなってしまうのでしょうか？

細川氏 そんなことはないでしょう。出水の透明で冷たい水は、魚など水辺の生物が住むには絶好の場所ですよ。だから、今ではあまり見られなくなりましたが、夏にはよく子どもが釣りをしていたものですね。

——詳しく教えてくださいませんか？

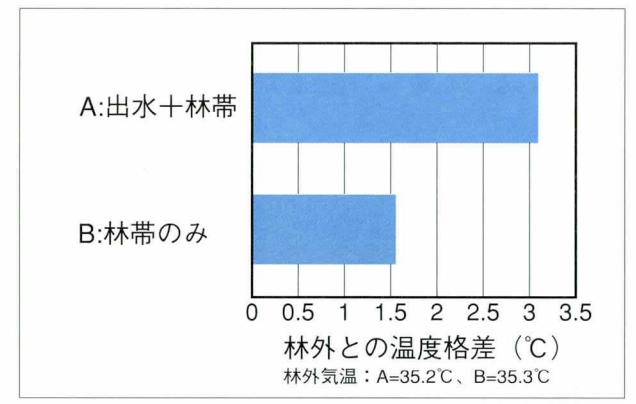
細川氏 林の中で入るとヒンヤリ感じますよね。それに出水が加われば、さらに暑さを和らげてくれるんじゃないかな、と思ったんです。調査は、飯山町の林とその近くの林に囲まれた出水の二か所で行いました。【参考2】を見てください。

林の中でも気温が一・六度違うのに、それに出水が加われば、三・二度も下がるんです。この調査で林自身が持つ気温緩和効果は、出水を内に囲むことによつてさらに増大するという結果を得ました。ちなみに出水だけでは、気温緩和効果は得られないという調査結果も出ています。

——条件がそろえば、出水は暑さをしのぐ場所にもなり得るというわけですね。

細川氏 調査結果がすべてというわけではないですが…。ただ、現在善通寺で行われているような出水の整備の際には、もともと林の中にある出水なら、なるべく周囲にある木々を伐採しないようにすると、林がない出水でも周辺に植林をするなどすれば、暑さをしのげる、いい

【参考2】『出水+林帯』と『林帯のみ』の気温緩和効果



憩いの場になるのではないのでしょうか。

吉川氏 細川さんの調査結果のように、整備された出水周辺が気温より三〜五度低いとなれば、確かに親水空間として近隣の住民の方に親しまれますよね。

私の調査では、農作物を育てるときに過剰な化学肥料を与えた場合、肥料に含まれるチッ素などが水と一緒に地下へ染み込み、地下水を汚染するということがわかっています。それは同時に出水の水をも汚しているということです。地下水を汚染しない肥料の開発など『環境を壊さない農業』が今、求められています。

出水は、単に水を供給するだけのものではなくて、地域の資源にもなっていますからね。

小さい時よく遊んだのに
行こうと思えば、いつでも行けるのに
よく知らない出水の本当のこと
時を追うごとに、変化していく出水の存在

地元の想い

昭和30年の分村によって、かつての村は丸亀市と善通寺市に分割。その影響で原田町の寺湧の利用者や管理者は両市にまたがります。寺湧の管理者である小川賢矩さんと坦さん、そして出水に詳しい宮脇さんインタビュー。出水に対する地元の思い入れは格別です。

昔、出水は生活の一部やったなあ

出水で遊ぶ子どもをあまり見かけなくなつて久しい。寺湧の管理を三十年余りにわたって引き受けている小川賢矩さんは言う。「昔はな、幼稚園児ぐらいの子から高校生ぐらいの子まで、みんな一緒に遊んどったんや。年上の子が小さい子の面倒を見とつた。だから、出水で遊んど

つても、小さい子が危ないことをしようとしたら、大きい子が止めたり、溺れそうになつたらみんなで助けたり。みんな遊びながら、生活の知恵や危機管理を学ぶつていうか、とにかく出水にはいつも子どもがおつたけど、事故は一回も起こらなかつた。」小川賢矩さんが幼い



寺湧管理者 小川坦さん (丸亀市原田町)

出水は大切な場所や。けどな：

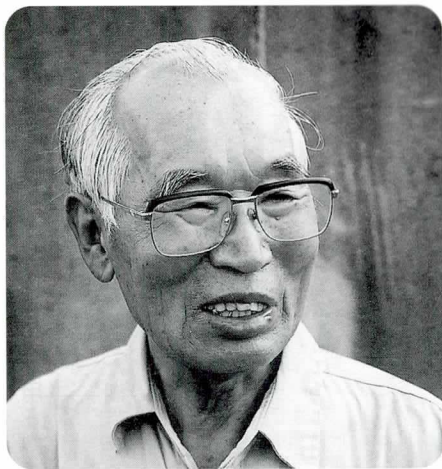
とぐのにも使つたなあ。出水はいつも生活の一部やった。」しかし、年を追うごとに出水の水が汚れるようになった。宮脇さんは水質の変化についてこう語る。「生活が豊かになるにつれて、たくさん生活雑排水が川に流されるようになった。寺湧は金倉川からも水を引いてるけん、出水の水も汚れるわな。ようけおつた魚が、だんだんおらんようになった。そんなところでは子どもも泳がんとし、米もとがんな。いつの間にか出水の水は農業用水にだけ使われて、憩いの場ではなくなつた。最近、下水道の整備やらで水がきれいになってきた。この間なんか、出水でメダカが泳いどつたで。」実際に寺湧を訪れてみると確かに小魚が数匹泳いでいた。

昔は、オリンピック水泳競技の代表選手も訪れたといわれる寺湧。金蔵寺町や木徳町の遠方からも遊びにくる子どもがいて、まさに地域の遊び場だったといえる。この出水をこれからどう管理していくのか。小川賢矩さ

んはやや表情を曇らせて言う。「二番の問題は、子どもたちがよそへ出て行つて、農家の後継ぎがおらんようになってきたことやな。今農業をしよる人も年をとつたし、農家をやめる人も出てきた。出水の管理も同じことや。管理するもんが年をとつたり、おらんようになる。今はなんとかに数年に一回清掃をしよるけど、いずれは寺湧も荒れていくんかなあ。」存在の危ぶまれる出水を守る手立てはないものか。



年に2回行われる出水の清掃



寺湧最高管理者 小川賢矩さん (丸亀市原田町)

時は、寺湧にはフナやコイばかりかドジョウやカニもいたらしい。管理を手伝っている小川坦さんも目を細めて懐かしがる。「昔は水が豊富で澄んどつたけん、風呂の水に使つたり、米を

瓢箪池、壹岐の湧はすでに整備が終わつています。親水から生まれる保護の意識



郷土史家 宮脇文雄さん (善通寺市原田町)

八十一ある出水のうち、今回、半分も回ることができません。見つからない、そしてやつと出会えたときの喜び——それが出水巡りの醍醐味。

水に親しむ

名水を守るための 市役所の動き

九つのため池 四つの出水

香川県と善通寺市では、平成14年度から農村振興整備事業として、谷口池、瓢箪池、地藏池、大塚池、宮池、道池、吉原大池、善通寺大池、満賀池の九つのため池と、壹岐の湧、中出水、エビス湧、榎の木湧の四つの出水を順次整備しています。谷口池、

親水から生まれる 保護の意識

この事業は、出水を単にコンクリートで固めてしまうものではなく、出水を持つ個性を大切に、自然と調和するようにリニューアルするもの。排水系統も同時に整備するので、地元の維持管理も楽になり、これまで以上に地域の人

取材を終えて：

八十一ある出水のうち、今回、半分も回ることができません。見つからない、そしてやつと出会えたときの喜び——それが出水巡りの醍醐味。

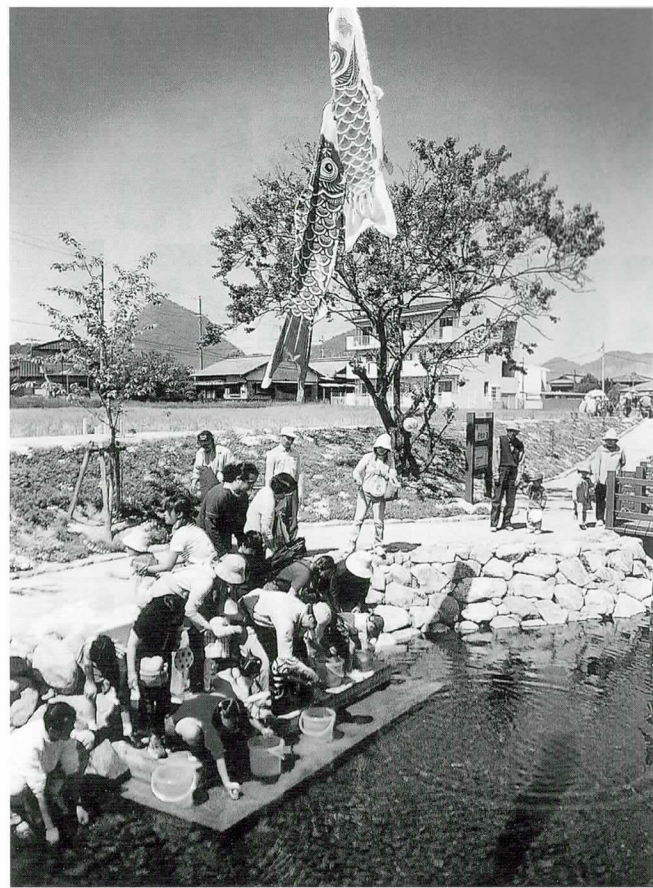
取材を終え、出水が地域の人に本当に愛されているというところを改めて知りました。地元ならではの出水の逸話や歴史。そこには出水への親しみの気持ちが存在します。



稲木町の上引湧 (かみびきゆ)



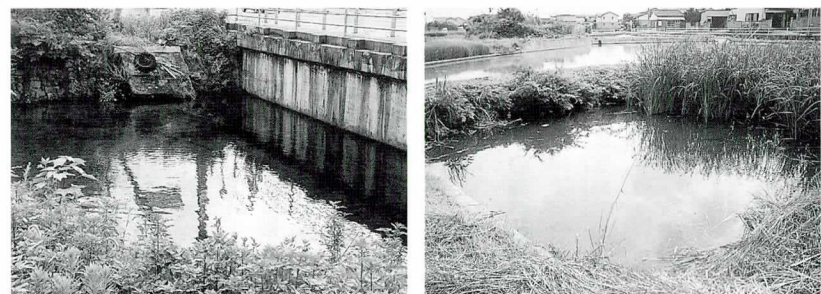
中村町の阿瀬湧 (あせゆ)



『壹岐の湧』の整備一周年を祝う地元のみなさん

以上地域の人々が水と親しむことができるようになります。今年4月、整備から一周年を迎えた壹岐の湧周辺の方には、出水管理の意識が高まっています。善通寺の象徴、出水を守るためには、市民のみなさんと行政の協力が不可欠です。

出水には、常に地下水が湧いている『周年出水』と、夏季になると水が湧き始める『季節出水』とがあります。周年出水は、農業用水などで利用されるので、年間を通して地元の方が管理しています。しかし、季節出水は利用されずに荒れ放題になっているものが多いというのが現実。そうになると、土砂やごみで湧水ポイントがふさがれてしまい、水が枯れてしまいます。その結果、存在がなくなる出水が年々増えています。出水の存在価値が次第に薄れゆく現在、この現状も仕方ないのでしょうか。しかし、取材先の出水で出会った人はみんな口をそろえて言



中村町の阿瀬湧 (あせゆ)